

2017

ぼくの夢 わたしの夢

新しい年を迎えて、
高山小学校6年生の
皆さんに「将来の夢」を
語っていただきます

ゲームディレクター になって



飯塚 柝哉

ぼくの将来の夢は、ゲームディレクターになることです。ぼくは、5歳の時に、父が持っていたニンテンドー3DSでゲームをはじめました。そのころ、クラス

のみんながゲーム機を持っていたので、ぼくも自分のゲーム機でゲームをしたかと思いましたが、
そして3年生のときにニンテンドー3DSLLを買ってもらいました。そのとき父に、「ゲームディレクターになれば」と言われ、ゲームディレクターになろうと思いました。
ぼくが自分の好きなゲームをしていると、そのゲームをきらっている人にばかりにされます。ぼくはゲームディレクターになって、みんなと仲良く遊べるゲームを作りたいです。

保育士になって



山田 芽璃

私の将来の夢は保育士です。私は幼稚園の時から保育士になりたいと思っています。きっかけは、2歳の時にもらったぬいぐるみだと思

います。なぜなら、小さいころの写真を見ると、もらったぬいぐるみをおんぶしたり、一緒に寝たりして、そのころから妹の面倒もぬいぐるみの面倒もよくみていたからです。3年生ぐらいの時から図書館に行って保育士の本を借りて勉強していました。最近では、保育園に入れなかった子の親が「日本死ぬ」などと言ったニュースがありました。その理由には保育士が足りないということもあると思いました。私の将来の夢を家族も応援してくれているのでがんばりたいです。

助産師になりたい



木村 凜

私の将来の夢は助産師になることです。私の母は病院で看護士の仕事をしています。病院では人が亡くなってしまうことがあります。母は人が亡くなるころを

たくさん見送っています。命が終わるところをたくさん見えています。しかし、助産師という仕事は「命の始まりを手助けする仕事」私はそう思いました。なので私は助産師になりたいと思いました。新しい命が産まれる瞬間を助けたいと思います。そのためには、しっかりと勉強をして大学へ行き、りっぱな助産師になって命の産まれる瞬間の手助けをしたいです。助産師になるとい夢に向かってがんばりたいと思います。

プロサッカー選手になりたい



高橋 凌

ぼくの将来の夢は、プロサッカー選手です。いっぱい練習して、強い高校に入って、強いチームに入りたいです。そのために、ぼくは左足

でもボールをける選手になりたいです。自分自身も思っていることだし、クラブチームの監督にも言われました。ぼくのポジションは、センターバックです。センターバックはシュートを打たれないように、ボールを取る選手です。いろんな選手から、どんなドリブルをしてきても、ボールを取れる選手になりたいです。ぼくは体が大きいです。体についていけている部分が大きいので、体にたよらずしっかりとテクニクをみがいていきたいです。



ネイリストに
なりたい

西形 明莉

私は、つめをきれいにする、ネイリストになりたいです。
ネイリストになり、いろんな人をえがおにして、自分もみんなにえがおになってもらってよろこび、いろいろな技能を身につけられて、一石二鳥です。
あと、オシャレが大好きだけど、自分でするのは大変なので、みんなにしてみたいと思っています。
私はそのために、いっしょうけんめい勉強をがんばったり、そのときにあったデコレーションを調べたりして、ネイリストになれるように、これからもいろいろな努力していきます。



あこがれの選手を
こえるプレイヤーに

平形 翼

ぼくの将来の夢は、サッカー選手です。ぼくは、本田圭佑選手のプレーにあこがれて、5歳の時からボールにさわりはじめ、3年生の時に本格的にサッカーをはじめました。中学生になってクラブチームのクリロに入り、前橋育英高校に入って活躍して、日本代表になりたいです。
あこがれている選手は、海外のリオネルメッシ選手と日本の本田圭佑選手と、もう一人は一つ上の先ばいの大津聖人くんです。ぼくも将来、あこがれる選手をこえるようなすごいプレイヤーになりたいです。もしサッカー選手になったら、みんながあこがれるような、サッカー選手になりたいです。



料理人になって

山岸 託透

ぼくの将来の夢は料理人になることです。なぜかというとお母さんが料理を作る仕事をしていた、それを小さいころから見ていたからです。家のるすばんのときにも、カレーとかいろいろなものを作っていました。
自分が作った料理をたくさんの人に食べてもらいたいから、料理人になりたいと思いました。
料理人になる前に、料理の専門学校を出て、いろいろなことを学びたいと思いました。もっと、いろいろな料理をおぼえていきたいです。そして、料理をいっぱいおぼえて、家族の人たちにも食べさせたいと思います。



たくさんの子ども
たちと接したい

七五三木 凜

私の将来の夢は、幼稚園の先生です。なぜこの仕事がいいかという、子どもが好きだからです。でも、それだけではありません。私が幼稚園生のとき、幼稚園に行くのがいやで泣いていました。そのときに、幼稚園の先生が、「大じょうぶだよ。」と、やさしく声をかけてくれました。それから、幼稚園の先生にあこがれてきました。それに、私はきょうだいがいなくて、あまり子どもと接することが少なかったもので、子どもとふれあえる仕事がいいと思いました。
私は、この将来の夢にむかって、今からがんばりたいと思います。



やさしい
歯科助手に

都筑 美沙

私の将来の夢は歯科助手になることです。なぜかというとお母さんが歯が大好きで、よく虫歯になっていて、いつもお世話になっていたので、私も歯が大好きで、いつも笑顔でやさしかったです。そんな時は、いつも笑顔でやさしかったです。私も、笑顔でやさしくて、尊敬される助手になりたいです。でも、なれなくて意味がないので、今のうちに、しっかり小学校の勉強をしようと思えます。それから、中学校、高校としっかりがんばって、専門学校に入學して資格をとりたいです。歯科助手になるには大変で難しいと思いますけれど、家族みんなに支えてもらいたいと思います。もしなれたら、みんなの歯を健康にきれいにしたいです。



陸上選手に
なりたい

有馬 蒼澄

ぼくの将来の夢は、陸上選手です。なぜ陸上選手かという、テレビで百メートルをやっている、面白そうだから見ていたら、すごく速くて自分もやってみたくて思ったからです。
もう一つなりたいと思った理由は、前に陸上記録会に出て、ハードルをやった時に、良いタイムがとれて、しかも順位が良くてうれしかったからです。だから、陸上を中学でも高校でもやって、夢に近づいていきたいです。あと、記録ももっと速くしていきたいです。毎日練習をして、力をつけていきたいです。これから先も、たくさん練習をして、陸上選手になりたいです。